

巨大紙ロールにびっくり

第一学院高生が見学



巨大紙ロールを見学する生徒ら＝金沢市北安江の北陸中日新聞幸工場で

第一学院高校（金沢市堀川新町）1年生の生徒10人が19日、同市北安江の北陸中日新聞幸工場を訪れ、機械の役割や新聞が出来上がるまでの流れを学んだ。生徒たちは、地区ごとに

きまつし
みまつし
本社工場
子どもも大人も

新聞が高速で振り分けられるベルトコンベヤーや、重さ約1トで伸ばすと全長約15キロに及ぶ紙ロールなどを見学。新聞掲載の写真は4原色で構成されることなど新聞製作の仕組みを、本紙の米倉敏広NIEコーディネーターが説明する講義もあった。玉田悠真さん（15）は「いろんな技術が使われていることを知った。紙ロールがあんなに大きいとは思わなかった」と話した。

（柴田一樹）